

# 戦 評 用 紙

平成29年度関東高等学校バスケットボール大会  
埼玉県予選会

平成29年5月19日

会 場 越谷市立総合体育館

Eコート第1試合

対 戦	山村学園 高校	26	—	8	川越南 高校
	112	26	—	13	65
		20	—	20	
		40	—	24	

関東大会代表決定戦で、平成20年度から連続出場している山村学園と、平成19年以来の出場を狙う川越南の対戦。

第1P 両チームハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。川越南#5の速攻とエンドスローから#8が決め、序盤はリードする。高さで勝る山村学園は、#6がリバウンドで繋ぎ、激しいディフェンスからの速攻や#5の3pで逆転する。川越南はプレッシャーの中、3pを打つが連続で外し、その間山村学園は#4がドライブイン、リバウンドで得点を伸ばし、点差を離す。山村学園はオールコートマンツーマンでプレッシャーをかけ、川越南のオフェンスのリズムを崩し、高さを活かしてゴール下での合わせやリバウンドで突き放す。26-8山村学園リードで終了。

第2P 山村学園は#4から#11への合わせ、#4がゴール下に飛び込んでの合わせから始まる。川越南は#15のジャンプシュート、3pの連続得点で反撃し始める。#6#10のジャンプシュート、#4の3pが決まり、開始5分までは12-12の互角の展開となる。後半の5分からお互いにリバウンド争いが激しくなり、体のぶつかり合いも激しくなり、荒れた展開となる。ここで選手層の違いが現れ、激しい体のぶつかり合いに消耗してきた川越南はノーゴールの時間が続く。山村学園はオールコートで激しくプレッシャーをかけ、リバウンドとゴール下の合わせで得点を重ね、差を広げていく。52-21山村学園リードで前半終了。

第3P 山村学園はベンチメンバーとなり、#11がゴール下で合わせやリバウンドで得点し、点差を広げる。川越南は#6のジャンプシュート、ゴール下合わせで得点を返し、食らいついていこうとするが、点差は縮まらない。山村学園はさらにベンチメンバーと交代し、オールコートでプレッシャーをかける。山村学園は#10が良く走り、速攻2本と合わせで連続得点する。川越南は#9#5#4が外から決めるが、点差を縮めることはできない。72-41点差を点差そのまま終了。

第4P 山村学園はメンバーをスタートに戻すが、4分で再びベンチメンバーとする。終始オールコートでプレッシャーをかけ、両チームとも早い展開でゲームが進む。このピリオドで40点を取った山村学園がリードを広げ、112-65で山村学園が勝利し、関東大会出場を決めた。

(記録者： 草加西高校 伊澤 暁 )